



まつりだ！

— 浅川駅前でのお祭りイベント —

議

会

だより

No. 101

平成27年11月11日

あさがわ

P2~ 新しい議会の構成

P4~ 議員を紹介します

P6 平成26年度の決算を認定

P10~ 一般質問 5人が問う

P16 シリーズ37 浅川の歴史さんぽ

活動開始

臨時議会

10月1日



議長就任あいさつ

円谷忠吉

このたび不肖私が議長に就任しました。身に余る光栄で、重責を改めて痛感しています。私は、今までの経験を生かし、初心を忘れず、公平・公正な立場で議会運営に努める所存でございます。

本町も厳しい財政状況ではありますが、多くの町民が望む幼保一体化施設の早期完成、小学校統合の問題等課題が山積みしています。町民が安全に、安心して暮らせる町、住民福祉向上のため、「住んでよかった私の町浅川」構築のため全力で取り組む所存です。また、創意と工夫を重ね、町民の負託に応えられる議会をめざし努力して参ります。町民の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、就任のご挨拶と致します。



副議長就任あいさつ

久保木芳夫

この度、改選にあたり副議長に選任され、職責の重さを自覚しています。議長を補佐し「住んでよかった私の町浅川」のスローガンに添え、厳しい財政、又多くの課題が山積みしておりますが、創意・工夫で町民の負託に応えられるよう、良識のある議会活動を目指し努力致します。

町民の皆様方の御指導御鞭撻をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶と致します。



〔前列右より〕

角田 勝

久保木芳夫 副議長

須藤 一夫 町長

円谷 忠吉 議長

笹島 亮二

緑川富士男

江田 文男

〔後列右より〕

金成 英起

渡辺 幸雄

田中 重忠

上野 信直

水野 秀一

須藤 浩二

岡部 栄也

議会事務局長



新しい議会構成が決定

〈総務・経済常任委員会〉

- 委員長 須藤 浩二
- 副委員長 金成 英起
- 委員 渡辺 幸雄
- 江田 文男
- 上野 信直
- 円谷 忠吉

★6人で構成し、総務課・税務課・農政商工課・建設水道課（建設関係部分）・出納室・選挙管理委員会・監査委員及び農業委員会に属する事務並びに他の委員会に属さない事務を所管します。

〈文教・厚生常任委員会〉

- 委員長 水野 秀一
- 副委員長 緑川 富士男
- 委員 笹島 亮二
- 田中 重忠
- 角田 勝
- 久保木 芳夫

★6人で構成し、保健福祉課・住民課・建設水道課（水道関係部分）及び教育委員会に属する事務を所管します。

なお、各常任委員の任期は、議員の任期中です。

〈議会運営委員会〉

- 委員長 笹島 亮二
- 副委員長 上野 信直
- 委員 須藤 浩二
- 水野 秀一
- 久保木 芳夫

★議会運営全般、議会の会議規則、委員会に関する条例、議長の諮問に関するもの等について調査や審議を行います。

〈広報特別委員会〉

- 委員長 上野 信直
- 副委員長 須藤 浩二
- 委員 渡辺 幸雄
- 金成 英起
- 水野 秀一
- 久保木 芳夫

★あさかわ議会だよりの編集・発行を行います。

〔議会選出監査委員〕

- 江田 文男

★町の財務管理や事務事業の執行が、法令等に従って公正で合理的かつ効果的に行われているかをチェックします。

〔石川地方生活環境 施設組合議会議員〕

- 渡辺 幸雄
- 田中 重忠
- 角田 勝

★石川町・浅川町・古殿町・玉川村・平田村の5町村で構成し、火葬・し尿・ごみ処理に関する事務を行っています。議員総数は17人で、浅川町からは3人を選出することになっています。

〔須賀川地方広域 消防施設組合議会議員〕

- 金成 英起

★須賀川市・石川町・浅川町・玉川村・平田村・古殿町・鏡石町・天栄村で構成し、消防本部・消防署・救急施設の設置・運営に関する事務を行っています。議員総数は22人で浅川町からは町長と議員1人を選出することになっています。

議員紹介

議席番号 4 番

緑川富士男



前期 4 年をふりかえると反省すべき点は反省し、これからの 4 年はしっかりと腰をすえてやっていきたいと思えます。また仲間と旅をするのも好きなので旅先で湯につかるのも楽しみです。

議席番号 1 番

渡辺幸雄



趣味・時間があれば海にて魚釣をたのしむ。私も、団塊世代といわれる年代、少子高齢化が進む中で、若い世代が住みやすい町づくりの為にがんばりたい。

議席番号 5 番

江田文男



2000 年から福島百名山を登り始め 2009 年 5 月に半分の 50 登山、現在は 65 登山。今後は百名山を目指し、自給自足の生活をしたい。山羊、鶺鴒、メダカ等生きものを飼うのが好き。

議席番号 2 番

金成英起



食米を作り、表具の仕事をし、役職もさせていた。ただきながら、合間に剣道や居合なども楽しみながらしていた頃、少々でも続けていたたら幸いと思えます。

議席番号 6 番

笹島亮二



趣味 ゴルフ、家庭菜園

議席番号 3 番

須藤浩二



趣味 スポーツ観戦、旅行、食べ歩き
友達数人とツーリングクラブを作り年に数回ツーリングを楽しんでいます。秋の会津路は特にお気に入りのコースで、心が癒されます。

趣味・特技などの自己PRと輝いていた頃の1枚

議席番号10番

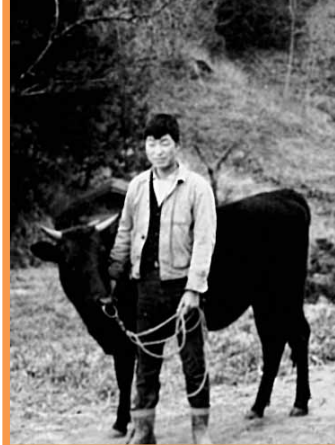
角田 勝



50才になって間もない頃の選挙用写真です。私は終戦日から4日目に父が中国で戦死、育ててくれた父も若くして病死しました。その後、命がけて戦争反対を貫く日本共産党に入り選挙続きの道を歩み皆さんにお世話になっています。

議席番号7番

水野 秀一



趣味は草花いじりや小鳥や金魚など飼っています。今、日本ミツバチに熱中しています。今年始めておいしいハチミツをしばりました。

議席番号11番

久保木 芳夫



昭和39年頃の一コマ
巨人、大鵬、玉子焼時です
趣味はスポーツ
健康に心掛け、合間には近県・近郷の名所、湯めぐりで癒やします。
好きな言葉へ身土不二

議席番号8番

田中 重忠



平成7年52歳で初めて立候補した時ポスターに使用した写真です。
あれから20年が過ぎ「有言実行・是非々々」の志は全く変わりませんが、町行政と町議会が年々町民の想いとかけ離れて行くようで大変残念に思えます。

議席番号12番

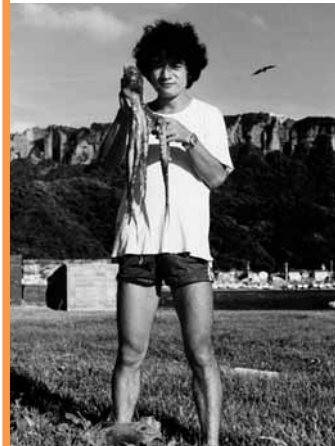
円谷 忠吉



二十数年前バイク仲間数人と尾瀬に行った時の一コマです。今では懐かしく、楽しかったページです。

議席番号9番

上野 信直



趣味は魚とりと読書。子どもの頃は、学校に行かない日はあっても川に行かない日はありませんでした。読書は藤沢周平さんを読み返しています。写真は大学生の頃、房総でタコをつかまえた時のものです。

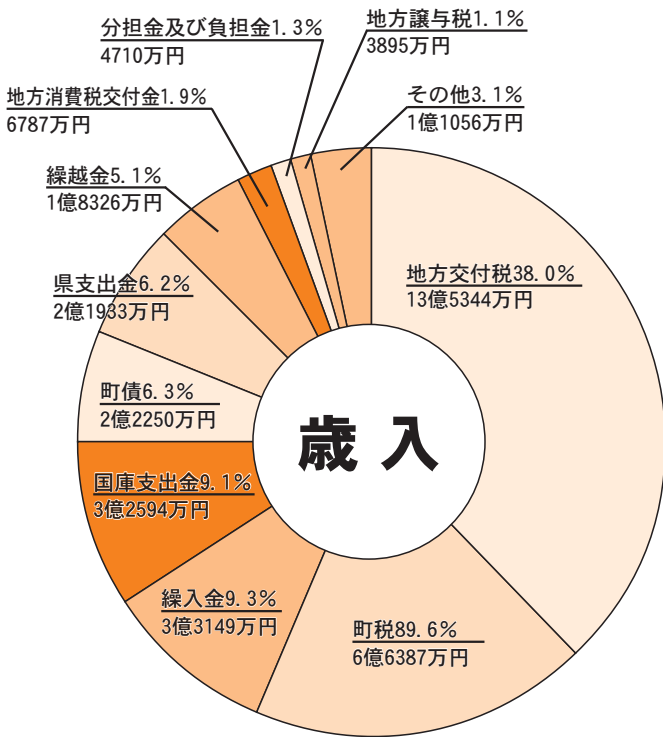
決算を

認定

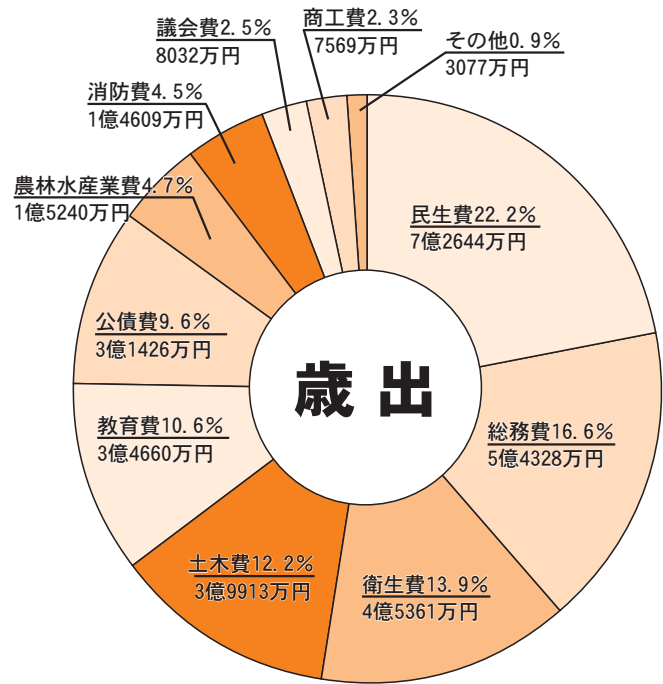
9月議会定例会

9月定例議会は、8月31日から9月3日までの会期4日間で開かれ、町長から提案された平成26年度各会計決算認定や、条例改正など29議案は、原案通り可決しました。

〔一般会計決算〕



歳入合計 35億6431万円



歳出合計 32億6859万円

1・8億円の黒字

監査報告

実質収支額は1億8000万円となり、財政運営の基本である黒字決算である。地方財政の自主性・安定性を高めるためには自主財源の確保が第一であり、町の収納にあつては特段の徴収率向上と各種使用料の未納額解消を図るよう要望する。

質疑

滞納解消への取組状況

問 税等で滞納が指摘されているが、26年度、滞納に対する取組、成果はどうだったか。

答 電話催告、臨戸徴収により、前年度より合計額で収納率が伸びている。新しい滞納者を増やさないよう取り組む。

平成 26 年度

貫秀寺の整備後、見学者は増えているか

問 小貫の貫秀寺の整備事業が終了、その後の見学者、入場者の状況はどうか。

答 4月には大型バス3台で県内の方ですがおいでになっている。その後グループの小旅行とか家族の方とかおいでになっている。日本各地からも電話等で問い合わせが来ている。

肺炎球菌予防への取り組みは

問 高齢者のインフルエンザワクチン接種者1176人に対し、肺炎球菌ワクチン接種は1割弱で極端に低い。肺炎球菌のワクチンの普及、啓蒙をすべきではないか。

答 予防接種法に基づく定期予防接種の間隔に基づき、該当者に周知を図りたい。

討論

— 反対討論 —

角田議員 こども園建設事業について、用地買収・基本設計費を予備費につけ替えて新年度の着手を見送り、大事業を再検討すべきである。

また、町独自の介護保険利用者負担軽減事業を継続すべきである。

— 賛成討論 —

円谷議員 厳しい財政の中でも道路の整備や子育て支援、学校教育等の充実、さらには福祉の向上、そして経費の節減に努め黒字決算となり、町長の経営的手腕である。その努力を認め賛成する。

採決

賛成多数で認定しました。



条例改正

議案
5349・5450・52

税などの納期限を変更

個人町民税などの納期を変更し、幼稚園保育料の口座振替日を定めるもの。実施は来年4月1日から。

●個人町民税

(普通徴収分)

〔現行〕

- ① 6月1日～27日まで
- ② 8月1日～27日まで
- ③ 10月1日～27日まで
- ④ 1月1日～27日まで

〔改正後〕

- ① 6月1日～30日まで
- ② 8月1日～31日まで
- ③ 10月1日～31日まで
- ④ 1月1日～31日まで

●固定資産税

〔現行〕

- ⑤ 10月1日～27日まで
- ④ 9月1日～27日まで
- ③ 8月1日～27日まで
- ② 7月1日～27日まで
- ① 5月1日～27日まで

●国保税

〔現行〕

- ② 7月1日～27日まで
- ③ 8月1日～27日まで
- ④ 9月1日～27日まで
- ⑤ 10月1日～27日まで

- ⑥ 11月1日～27日まで
- ⑦ 12月1日～25日まで
- ⑧ 1月1日～27日まで
- ⑨ 2月1日～27日まで

〔改正後〕

- ① 7月1日～31日まで
- ② 8月1日～31日まで
- ③ 9月1日～30日まで
- ④ 10月1日～31日まで
- ⑤ 11月1日～30日まで
- ⑥ 12月1日～25日まで
- ⑦ 1月1日～31日まで
- ⑧ 2月1日～月末まで
- ⑨ 3月1日～31日まで

●後期高齢者医療保険料

(普通徴収分)
国保税と同じ

●介護保険料

(普通徴収分)
国保税と同じ

●幼稚園保育料

口座振替により納付する場合は、振替日は毎月月末とする。

【採決】

すべて全会一致で可決しました。

請願

請願第3号

所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願

請願者 東石民主商 費として認めていない
 工学会長 熊井利治 所得税法第56条の廃止
 紹介議員 上野信直 を求めるもの。
 角田 勝

【採決】

家族従業者の働き分 賛成少数で不採択と
 (自家労賃) を必要経 しました。

正算補予

議案55号

27年度一般会計補正予算

歳入歳出に1億5075万円を追加し、総額を32億2673万円とするもの。

〔主な歳出〕

- 財政調整基金積立 9999万円
- 幼保一体化施設実施設計 800万円
- ふくしま森林再生事業全体計画作成 400万円
- 消防団員用救命胴衣 110着164万円

【質疑】

問 ふくしま森林再生事業とは。

答 最近山の手入れがあまりされていないので、計画的に間伐、下刈り、林道整備、放射能対策などを進めていく。

【採決】

全会一致で可決しました。

人事

教育委員の任命につき同意を求めることについて
 氏名 岡田 初明
 生年月日 昭和36年10月

住所

浅川町大字山白石字 湯名後田1番地
 【採決】 全会一致で同意しました。

9月定例会採決一覧

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

議案番号	須藤 浩二	久保木 芳夫	緑川 富士男	円谷 忠吉	水野 秀一	小宅 正一	鈴木 国夫	田中 重忠	上野 信直	角田 勝	江田 文男	笹島 亮二	議決結果 (賛成：反対)
認定第1号	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	—	認定 (7：3)
認定第2号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	認定 (10：0)
認定第3号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	認定 (10：0)
認定第4号	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	—	認定 (9：1)
認定第5号	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	—	認定 (7：3)
認定第6号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	認定 (10：0)
認定第7号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	認定 (10：0)
認定第8号	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	—	認定 (7：3)
認定第9号	○	○	○	○	○	○	—	×	×	×	○	—	認定 (7：3)
認定第10号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	認定 (10：0)
議案第46号	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	—	可決 (9：1)
議案第47号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第48号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第49号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第50号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第51号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第52号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第53号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第54号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第55号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第56号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第57号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第58号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第59号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第60号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第61号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第62号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第63号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
議案第64号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	可決 (10：0)
請願第3号	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	×	—	不採択 (3：7)

認定第1号 平成26年度浅川町一般会計歳入歳出決算の認定について

認定第2号 平成26年度浅川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第3号 平成26年度浅川町山白石財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第4号 平成26年度浅川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第5号 平成26年度浅川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第6号 平成26年度浅川町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第7号 平成26年度浅川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第8号 平成26年度浅川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第9号 平成26年度浅川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第10号 平成26年度浅川町上水道事業会計決算の認定について

議案第46号 浅川町個人情報保護条例の一部改正について

議案第47号 浅川町旅費条例の一部改正について

議案第48号 昭和55年度の冷害による被災者に対する町民税及び国民健康保険税の減免に関する条例等を廃止する条例を定めることについて

議案第49号 浅川町税条例の一部改正について

議案第50号 浅川町国民健康保険税条例の一部改正について

議案第51号 浅川町手数料徴収条例の一部改正について

議案第52号 浅川町立幼稚園保育料等に関する条例の一部改正について

議案第53号 浅川町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

議案第54号 浅川町介護保険条例の一部改正について

議案第55号 平成27年度浅川町一般会計補正予算(第2号)

議案第56号 平成27年度浅川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案第57号 平成27年度浅川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

議案第58号 平成27年度浅川町介護保険特別会計補正予算(第2号)

議案第59号 平成27年度浅川町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

議案第60号 平成27年度浅川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

議案第61号 平成27年度浅川町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

議案第62号 平成27年度浅川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第63号 平成27年度浅川町上水道事業会計補正予算(第1号)

議案第64号 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

請願第3号 「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出についての請願書

5人の議員が質問

(通告順)

1 小宅正一 議員

- (1) 浅川町滝輪滝ノ台ニュータウンについて

2 田中重忠 議員

- (1) 総務課長等の庁内人事について
- (2) 特別養護老人ホームの入居待機者等について
- (3) 里白石小学校、山白石小学校の統合と介護施設の誘致について
- (4) こども園用地の造成工事と工事費用について
- (5) 国民健康保険滞納者と生活保護受給者について
- (6) 公共下水道不納欠損761万円の処理と責任について

3 江田文男 議員

- (1) 防犯灯の要望がかなり各地区から出ていると思う。優先順位は
- (2) 小・中学校等の熱中症対策は万全か

4 角田 勝 議員

- (1) 下水道加入金などの不納欠損問題の責任と弁償、そして厳正な処分をすべき
- (2) 集会所の地元負担をなくすこと、などについて
- (3) 小学校の統合問題にどのように取り組むのか
- (4) 水田への塩化加里散布経費を東電から賠償してもらう為に町も農協と力を合せて速やかな支払いを
- (5) 8月15日の終戦記念日に戦没者追悼と平和を祈念する黙とうを防災無線でお願いすべきではないでしょうか
- (6) 学校給食費の無料化実現にとりくみを
- (7) 企業誘致のとりにくみと地元企業の移転について

4 上野信直 議員

- (1) 公共下水道加入者負担金等徴収不納問題の事実関係及び再発防止策を問う
- (2) 基本設計で過大な点が浮き彫りになった幼保一体化施設は大きく見直しを
- (3) 花火の里ニュータウン分譲にしっかりと取り組みを
- (4) 介護保険制度の改悪で17年4月から介護保険のデイサービス、ホームヘルプが受けられなくなる要支援1・2の人への対応は
- (5) あさかわロードレース参加者がプールなどのシャワーを使えるようにすべき
- (6) 在京浅川会員への広報の送付は2ヶ月分ではなく毎月送るべきではないか
- (7) 町として不戦の誓いを新たにす戦没者追悼式を行うべきではないか

町の考えを
ただす

町民の声を
伝える

町政に
生かす

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。一般質問は9月1日(火)に行われました。今回は5議員より23項目の通告があり、町政全般について執行部の考えを質しました。通告は左に記載のとおりです。

一般質問

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。

特老ホーム入居待機状況は

合計396名である



田中重忠議員

問

介護保険制度のもと自立困難な高齢者は特老などの介護施設に入所又は介護サービスを受けられることになっている。しかし、実際には年々入所待機者が増え続け長期入所できない人が増えている。石川、玉川、古殿、鮫川、棚倉町などでは、福祉施設ほかに、民間医療機関と提携した施設を誘致、建設を進めている。浅川町としての今後の対応について聞きたい。

- ① 石川福祉会各施設の実待機者は何名か。
- ② 入所待機者に対する町としての対応は。
- ③ 入所手続きと入所順番は。

町長 ①平成27年8月20日現在、さくら荘123名、さぎそう99名、よもぎ荘118名、たまかわ荘114名、ふさの荘80名の計534名で重複の申し込みもある。5町村で316名、郡外から80名、合計396名の方が実入所待機者となる。

② 社会福祉協議会、地域包括支援センター等が連絡を取りながらニーズに合わせたサービスをしている。

③ 入所の申し込み施設に設置している入所検討委員会で本人の状況等が検討され、順番を決定している。



公共下水負担金の不納 欠損の責任は

督促催告は条例等に基づき 行つた

問

公共下水道受益者負担金等761万円をわずか3回だけの催告で26年12月に時効による不納欠損処分にした。議会と町民に事実関係を説明し、関係職員を処分し町長が町民にお詫びすべきだと思ふ。次の点について聞きたい。

- ① 58件761万円の不納欠損について町民に報告し町長がきちんと謝罪すべきではないか。
- ② 督促を1回、催告を2回しただけで不納欠損が認められるのか。
- ③ 職員の責任と処分は

どうするのか。

町長

① 本議会において、深くお詫びを申し上げている。

② 督促、催告は、条例等に基づいて行うものであり、公法上の債権として、滞納整理を図り処分をした。

③ 退職された職員であり、処分は考えていない。

防犯灯の要望優先順位は

緊急性を加味し順次設置する



江田文男議員

問 2年前位から防犯灯料が町負担となつてから、各地区から防犯灯の設置要望がかなり増えたと思う。要望全部設置できるのか、現在何件の要望があり優先順位はどの様になっているのか伺う。

町長 防犯灯の設置について平成27年度設置要望箇所は、20か所となっている。優先順位については、現地確認を行い、設置可能かどうかを判断し、次に緊急性を加味して順次設置をしている。なお要望箇所すべてが設置とはいかない状況である。



小中学校の熱中症予防対応は

各学校に設置のエアコン活用

問 今年5月に小学生が運動中に熱中症の症状で具合が悪くなつたという事故が起きたと思う。特に7月8月の暑さは異常と思える。まだまだ暑さが続くと思う。熱中症の対策はどの様になっているのか伺う。

町長 小中学校、幼稚園には平成24年にエアコンを設置し学習環境の改善につとめている。教育委員会より各学校等に、暑さ対策としてエアコンの活用や熱中症予防について指導している。

教育長 各学校に設置のエアコンを活用した暑さ対策や、児童生徒に対し家庭生活において休養を十分取るとともに水分の摂取についても指導している。屋外活動では水分の摂取や無理のない活動を行うよう指導している。

地元企業移転に取り組みを

相談あれば真摯に対応する



角田 勝議員

問 人口減をくいとめるためには若者が働ける企業誘致が一番だ。原発事故等で容易ではないが町の対応はどのようにしているのか。また、町内の40人から働く将来性のある精密加工業で一部上場の自動車、オートバイ、航空機会社との取引する会社が約1万坪（3町歩）の敷地に本社、工場を作りたいと希望し、準備をしているとのこと。近隣の町村からアクセスがあったが、浅川町からは何もなく、他町村への移転を考え

ているとの話を聞き驚いている。何としても町外にいかないようすべきではないか。

町長 企業誘致については従来からオーダーメイド方式をとっている。企業情報は県の東京事務所の情報提供をお願いしている。原発関連での優遇施策は本町にも適用される。ご指摘の町内企業については、企業の経営者から相談や要望があれば真摯に対応していく。

下水不納欠損の責任は

処分は考えていない

問 町民の方々から「苦しい家計をやりくりして納税しているのに5年間納めなくて済むなら俺もそうした。職務怠慢だ。何の処分もないのも判らない。弁償するのも当然ではないか。議会もしつかりしろ。」とのことをお叱りを受けた。私もその通りだと思ひ質問する。

町長 ①町長自らの責任を明らかにし、自らも含めた厳正な処分をすべき。②原因を明らかにして再発防止策をとるべきではないか。③町長自ら給与を減らす、係りある職員等に負担してもらって弁償すべきではないか。

町長 ①条例等に基づく不納欠損処理であり、いずれの処分も考えていない。

②再発防止策として、徴収業務を適正に実施する対応を図っていく。



公下水の加入者負担金 徴収不納問題は



上野信直議員

様々な対策をし、対処した

問 公共下水道の加入者負担金等徴収不納問題について次の点を伺う。

①時効完成は平成23年との説明だが、6回分の納なのでもっと後ではないのか。

②時効になる前に、納入促進、時効中断措置の実施などをなぜ行わなかったのか。実務のルールはどうなっているのか。

③この問題では、まじめに納税している人ほど町政不信を引きおこしている。この深刻な問題が生じた原因がどこにあり、再発防止策をどうするのか伺う。

町長 ①時効の完成時期は質問の通りで、分納はそれぞれ時効完成時期は異なる。

②督促状況発布後は、滞納整理として催告書の送付、面談等を実施しており、何もしていないわけではない。滞納整理期間は様々な対応策を模索し、対処した。

③原因と再発防止策については角田議員に答弁した通りである。



戦没者追悼式の復活を

現状では開催できない

問 平和の願いが高まっているなか、町民の方から、「戦没者追悼式と慰霊祭がいつの間にかやられなくなった。復活すべきではないか」という声が寄せられている。浅川町史第3巻には浅川町の戦没者名簿が掲載されている。階級、氏名、戦没年月日、戦没場所が18ページにわたって記され、232人の浅川町民と19人の浅川町に本籍を有した方が戦争の犠牲になったことを伝えている。戦死者を悼み、不戦の誓いを新たにする戦没者追悼式を復活させるべきではないか。

町長 平成19年度まで2年に1度、戦没者追悼式を行っていたが、次回は22年度に開催することで遺族会も了承していた。開催年を迎えた3月に遺族会会員の高齢化、会員の死亡、代が変わったことによる会員の激減のため遺族会を解散したとの報告があった。このため22年度に予定した戦没者追悼式は開催できず、現在に至っている。このような経過から、開催できないと考えている。新たな遺族会を立ち上げるなら力を貸す考えである。

ニュータウンの看板に蛍光灯を

実施したい



小宅正一議員

問 滝輪滝ノ台ニュータウンの入口の看板があるが、夜は暗く確認できない。滝輪から染の県道には、街灯がついているがニュータウンの看板は見えない。看板に蛍光灯を設置してはどうか。

町長 販売促進に向けた事業の取り組みとして、多くの皆さんが関心を得られるよう、ただ今、質問にあった具体策を実施したい。



議会傍聴におこしく下さい

平成27年12月定例会

12月10日（木）から予定
— 9時開会 —

議会傍聴の手続きは簡単です。2階傍聴席入口で住所と名前を書きだけで、だれでも傍聴することができます。

一般質問は11日（金）に行われる予定です

シリーズ
37

浅川の歴史さんぽ

浅川城主の離城 — 白河の関山に籠る —



— 寄稿 —

浅川町里白石 郷土史家

川音正平さん

天正6年白川勢が浅川城に攻め寄せた時に、浅川城を守っていたのは矢吹薩摩守であった。なぜ浅川大和守廉純・次郎左衛門豊純親子でなかったのか、不思議に思っていたが、この時すでに城主の二人は、浅川城を離城していたのである。

このことを示す内容が、掲載した写真の文書で見ることができる。

「来簡の趣具に披見、仍て浅川大和守心替り候て、白衆（白川勢）在城へ引き籠り候や、是非無く迄候（以下略）

卯月十六日義重（花押）

赤坂宮内大輔殿

年号の記載はないが、天正5年と推定されるもので、佐竹義重より鮫川の城主赤坂氏に宛てたものである。浅川大和守父子が、佐竹氏勢力支配・従属に見切りをつけ、浅川城を離れ白河の地へ引き籠ったと記している。

町の文化財委員の近藤進一氏は、浅川城主の離城について、「石川史談」に寄稿した論文の中で、佐竹氏からの直接的な圧力や、



佐竹義重より鮫川城主赤坂氏宛の書状

工作は考えにくいですが、浅川氏自身の佐竹氏支配に対する不満があったのではないかと、三点ほどの内容を具体的に示し、見解を述べている。

浅川城を捨てた浅川氏は、白川領下の関山に籠り、関備前寺などと相謀り、佐竹義重が安積郡窪田で戦いの後、兵を収めて関山を通過しようとした義重を襲って交戦したものの、成功せずに終わった」とある。「常陸国誌」にも、関山で浅川氏が、佐竹義重への反乱・襲撃のあったことが記されている。

その後年月は不明であるが、白川氏や石川氏の手厚い嘆願により、浅川の本領が安堵され帰城し、天正10年頃から天正18年まで、自領を治めることに専念していたのである。

編集後記

新しい議会だより編集委員会です。むこう4年間よろしくお願い申し上げます。

議会改革の大テーマ“住民に身近な議会”の実現に役立てるよう一同がんばる決意です。

お読みになってのご感想やご意見などをぜひお寄せ下さい。（編集委員長 上野信直）

